



上田市議会議員 佐藤のりゆき

佐 藤 論 征

後援会報 6月定例会報告

2014年6月定例会号

佐藤のりゆき後援会
発行責任者 森山 和
上田市真田町長 3576-1
TEL 0268-72-5666
FAX 0268-72-2622

所属委員会が決定

環境建設委員会 議会機能強化特別委員会

臨時議会において、所属委員会が決定いたしました。環境建設委員会、議会機能強化特別委員会への所属が決定いたしました。

今回の委員会所属につきましては、希望した委員会に所属させていただくことができました。

環境建設委員会については、細かい地元要望に対応するため、そして、現在上田市で大きな課題となっているゴミ処理施設、地域内分権等、これからの上田市での重要な施策を所管するため所属を強く希望いたしました。また、これまでお世話になった消防部（消防団）についても所管するため、これまでの経験を生かし活動してまいります。

議会機能強化特別委員会につきましましては、地方分権の推進に対応し本年4月に施工されました議会基本条例の制定に向け、昨年度までは運営されておりましたが、制定後の今期からは検証を進めていく非常に重要な時期に入ったため、所属を希望いたしました。

6月定例議会報告

軽自動車税改定

軽自動車税の税率が上がります。平成二十七年四月一日登録分から適用となります。

消防団員の退団報奨金の支給に関する条例の一部改正

消防団員処遇改善のため、退団報奨金がこれまでの報奨金より一律五万円増、最低二〇万円と改正されました。

小型除雪機購入補助金拡充

自治会等小型除雪機購入補助金が拡充されます。真田地域で実施されていたものを全市で適用するものです。補助率八割、限度額六〇万円。市全体で三六〇〇万円を予算化。

三才山・新和田トンネル

時間帯割引

午前六時～九時、午後五時～八時の時間帯割引回数券が八月一日より発売されました。通行料は半額となり内一割が市の負担。自治センターで購入ができます。



環境建設委員会
市内所管施設視察

真田地域これからの動き

NHK 大河ドラマが「真田丸」に決定、ラグビーワールドカップキャプ地誘致と、上田市は真田地域を中心とし非常に追い風の時期であります。その分多くの課題もありますが、この千載一遇の機会をしっかりと活かしていかなければなりません。その他にも真田地域に大きな動きがでてきました。

つちや水源湧水利用計画

長年検討が行われていた渋沢・大日向地区のつちや水源がいよいよ真田地域（長・本原）で利用できるよう具体的に動き始めました。渋沢・大日向地区のみなさんが次世代にこの素晴らしい水資源を残したいとの強い思いから実現したものです。この水が水道水として利用できるようになれば水質の向上はもとより、雨天時の水道水の濁りも解消され、真田地域で利用しきれなかった水を上田地域に回すことによりポンプアップ等の大幅なコストダウンも可能となります。

湯の平橋の改良に向け測量がはじまりました

以前から危険箇所として指摘の多く、改良が予定されていた旧菅平有料道路と144号線合流から菅平方向へ500mの湯の平橋の改良工事に向けた測量がはじまりました。今後改良工事が進んでまいります。

6月定例議会一般質問

初の定例議会において一般質問を行いました

初めての定例議会において一般質問挑みました。今回は3点について質問しました。

- ・2019年ラグビーワールドカップキャプ地誘致に向けての取組について
- ・NHK 大河ドラマ放映について
- ・中学校の部活動について

質問したい事柄は数多くありますが、限られた時間のなかでの質問ですので、今回はこの3点の質問といたしました。次回以降新たな質問をしていくのに加え、今回の質問を通じて更に問題視しなければいけない事柄もでてまいりました。

質問内容につきましては、市から発行される市議会だよりに内容の一部が掲載されますが、裏面に一般質問の詳細（抜粋）を掲載させていただきます。

2019 年ラグビーワールドカップキャンプ誘致に向けての取り組みについて

問 ラグビーワールドカップキャンプ地誘致に向けて上田市全体での盛り上げりをどのように進めていくか。

答 現在も行っている周知活動を更に進め、「ラグビーワールドカップキャンプ地を誘致する会」への活動補助支援を行い官民一体での連携を深め、ラグビーに対する市民の意識の高揚を図り、市民の皆さんを中心とした市全域でのキャンプ地誘致活動につなげてく

問 上田市全体での盛り上げるため、競技としてのラグビー普及、特に子どもたちへのルール普及について市での取り組み方針は。

答 トップアスリートが上田市を訪れる際の情報発信、市内で発行されているスポーツ情報誌などにラグビー競技に関する記事の定期的な掲載を依頼。タックルやスクラムをせずに気軽にラグビーに親しむことができる「タグラグビー」、また「タッチラグビー」を推奨し、関係団体と連携しながらルールの普及、関心を高める取り組みを積極的に進めていく。

問 世界中の選手を迎え入れるのに当たり、トレーニング施設等の建設が必要と考えるが、高地トレーニング施設建設についてはどう考えるか。建設検討に向け、民間も利用し費用対効果と建設規模の検討方法を明確化すべきではないか。

答 施設の必要性は高まっていると認識している。建設の検討については施設需要を十分考慮し、費用対効果を検討していかなければならない。また、旧真田町により建設をされました「サニアパーク」建設時のような有利な起債が現在見当たらない中で、財源の検討も大変重要であり、昨年から国・県等関係機関に陳情、また相談を重ねてきたい。

NHK 大河ドラマ（真田丸）放映について

問 大河ドラマ決定以降急増する真田地域の観光客に対応するための、駐車場、トイレ、幅員の狭いアクセス道路の整備を放映までに時間がないなかどのように早急な対応をするか。

答 これまで長谷寺のアクセス道路の一部改良などを行いながら、地域内に点在する観光資源を回遊するための電動アシスト付自転車 15 台の無料貸し出し、また真田三代ウォーキングマップの作成及び案内看板の整備を行うとともに、昨年はジャンボタクシーによる周遊ツアーを実施するなど観光振興を図ってきた。また、昨年 10 月 1 日からの料金低減バスの実証運行に合わせまして、「真田氏歴史館」や「御屋敷」方面へ連絡をする新たなバス路線を運行している。時間的な制約もある中、大型観光バス対応の駐車場や観光客の皆さんにご満足いただけるトイレの整備等、早急に検討を進めていく。また、真田氏ゆかりの史跡等へのアクセス道路につきましては、地形的、期間的な点を考慮し、今後、地元関係者及び土地所有者のご理解をいただく中で、待避所または部分的な改良計画を策定するなど検討を進めていく。

問 脚本家三谷氏への資料提供、三谷氏を上田市へ招待するなど上田市を舞台としていただくために積極的に働きかけをする必要があると考えるが、今後の三谷氏への働きかけはどのように進めていくか。

答 真田氏関連の資料収集や現地取材あるいはロケ地の選定などで上田市としてもご協力できることがあれば、これは全面的にご協力をしていく。また、上田市にとって今回の大河ドラマの放映は非常に大きな出来事であり、真田氏発祥の地として市民の皆さん全体の盛り上げが必要と考えるもので、脚本を担当されるこの三谷さんに上田においていただくことができれば大変意義のあることと考える。市長が長野放送局を訪れた際も、上田においていただく機会をつくってほしいとの要望を伝え、「本局に頼んでみる」とのお返事をいただいている。今後とも積極的な働きかけを進めていく。

中学校の部活動について

問 上田市は、県の指針を受け、中学校における朝の部活動の中止を急遽 4 月から各学校長の判断に委ねたことにより、各中学校での朝の部活動の状況に非常に差が出ている。また、県内の他市町村では、経過を見守る措置をとっている市町村も数多く、他市町村とも大きな差が出てきている。このことにより、生徒を中心に非常に混乱を招いている。特に部活動に対して熱心に打ち込んでいる生徒につきましては、大好きな部活動をやりたくてもできない状況にあり、一部メディアでは、上田市が部活動にいかにも消極的な地域として報道もなされている。さまざまな今回の一般質問の中で、子育て世代の定住促進、児童生徒が上田で生まれて育ってよかったと思える施策というような答弁を再三いただいているにもかかわらず、全く逆行したことが教育現場において起こっている。このような状況は、子育てに力を入れる上田市にとりましても、非常に損失であり、子育て世代の流出、ひいてはトップアスリート、アーティストの育成の喪失にもつながるところであります。小山教育長も以前高校で部活動を熱心に指導されたとお聞きしておりますが、生徒たちの気持ちが一番わかるのではないかなと思います。現場での混乱を避けるため、そして何より部活動に一生懸命打ち込んでいる生徒の気持ちに応えるためにも、現在の市の方針を改めるお考えもしくは新たな措置を講じていく考えはあるか。

答 学校ごとに県の指針を基準にし、生徒の健康、生活のリズムに配慮しながら、学校長の判断で部活動の時間を決定してくださいとお願いをいたしました。あくまでも県の基準に沿いながら、指針に沿いながらという趣旨のお願いである。当然今年学校ごとに実態調査を実施することになっております。既に実施している学校もありますが、そういう実態調査の結果なんかも見ながら、今後また改めて検討していきたい。